

イラク

2020 年 4 月 21 日ドラフト作成

(中略)

2023 年 2 月 16 日更新

2024 年 12 月 26 日更新

※更新した項目に更新日を記載しています

1. 一般情報.....	2
(1) 人口・地理 <2024 年 12 月 26 日更新>	2
(2) 内政 <2024 年 12 月 26 日更新>	2
2. 治安／人権状況.....	5
(1) 概況 <2024 年 12 月 26 日更新>	5
(2) 地域別.....	11
3. 関係する政治組織、政治活動／政府批判（労働運動含む）	17
(1) 反政府抗議デモ等の取扱い <2024 年 12 月 26 日更新>	17
(2) インターネット上での政府批判者の取扱い	20
(3) 元バース党関係者の取扱い	21
(4) ISIS との関係を疑われる者、ISIS 戦闘員の家族の取扱い <2024 年 12 月 26 日更新>	24
(5) 政府と関係している又は支持していると見なされる者 <2022 年 6 月 27 日更新>	26
4. ジェンダー、DV および子ども	27
5. LGBT	27
6. 汚職、国家による被害者の保護.....	27
(1) 非国家主体の迫害主体 <2023 年 2 月 16 日更新>	27
(2) 国家保護.....	36
(3) 国内避難の選択可能性.....	36
7. 兵役、強制徴集（非国家主体の）	37
8. 司法制度・刑事手続（刑務所等の状況含む）	37
9. 警察および治安部隊（情報機関含む）	37
(1) 政府当局者による拷問.....	37
(2) 刑務所の状況.....	37
10. 報道の自由	37
11. 宗教の自由	37

12.	国籍、民族および人種.....	37
(1)	トルクメン人 <2024 年 12 月 26 日追加>	37
13.	出入国および移動の自由	39
14.	国籍／市民権（パスポートを所持していない者の）	39
15.	その他.....	39

1. 一般情報

(1) 人口・地理

<2024 年 12 月 26 日更新>

ア 外務省「[イラク基礎データ](#)」（2024 年 12 月 2 日）

- | | |
|------|--|
| 4 民族 | アラブ人（シーア派約 6 割，スンニ派約 2 割），クルド人（約 2 割，多くはスンニ派），トルクメン人，アッシリア人等 |
| 5 言語 | アラビア語，クルド語（共に公用語）他 |
| 6 宗教 | イスラム教（スンニ派，シーア派），キリスト教他 |

イ ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」（2024 年 1 月）

Iraq is home to a number of distinct ethnic groups, with Arabs constituting the majority in Federal Iraq, while Kurds make up the majority in the KR-I. In addition, there are ethnic Turkmen,⁸⁸⁵ Black Iraqis,⁸⁸⁶ Assyrians,⁸⁸⁷ Roma (Dom),⁸⁸⁸ Shabak,⁸⁸⁹ Kavkaz⁸⁹⁰ and Armenians.⁸⁹¹ The majority of the population adheres to either Shi'ite or Sunni Islam.⁸⁹² Furthermore, there are communities of various Christian denominations,⁸⁹³ Yazidis,⁸⁹⁴ Sabaeen-Mandaeans,⁸⁹⁵ Kaka'is,⁸⁹⁶ Zoroastrians,⁸⁹⁷ Baha'is⁸⁹⁸ and a very small number of Jews.⁸⁹⁹ Since 2016 the national identity card no longer displays the holder's religion, but the application process still requires the prospective card holder to self-identify as either Muslim, Yazidi, Sabaeen-Mandaean, Jewish, or Christian, thus forcing members of non-recognized religious communities as well as atheists to either identify as one of these, or forgo an identity card (and hence be unable to undertake a range of administrative processes and access basic services).⁹⁰⁰

...

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

(2) 内政

<2024 年 12 月 26 日更新>

ア 外務省「[イラク基礎データ](#)」（2024 年 12 月 2 日）

2018 年	5 月 12 日	イラク国民議会選挙実施（投票率 44.5%）。（同年 8 月結果確定）
--------	----------	-------------------------------------

	9 月 15 日	ハルブーシー国民議会議長が選出。
	9 月 30 日	クルディスタン地域議会選挙実施。
	10 月 2 日	国民議会においてサーレハ大統領が選出され、同大統領がアブドルマハディー氏（シーア派）を首相候補に指名。
	10 月 25 日	国民議会においてアブドルマハディー首相及び（22 閣僚中）14 閣僚が信任され、アブドルマハディー政権が発足。
	12 月 18 日	国民議会において（未信任の 8 閣僚中）3 閣僚が信任。
	12 月 24 日	国民議会において（未信任の 5 閣僚中）2 閣僚が信任（その後、1 閣僚が辞任）。
2019 年	6 月 10 日	ネチルヴァン・バルザーニー・クルディスタン地域大統領が就任。
	6 月 24 日	国民議会において（未信任の 4 閣僚中）3 閣僚が信任。
	7 月 10 日	クルディスタン地域議会において、クルディスタン地域政府が信任（マスルール・バルザーニー・クルディスタン地域政府首相）。
	12 月 1 日	国民議会がアブドルマハディー首相の辞任を承認。
2020 年	5 月 7 日	国民議会においてカーズィミー首相（シーア派）及び（22 閣僚中）15 閣僚が信任され、カーズィミー政権が発足。
	6 月 6 日	国民議会において未信任の 7 閣僚が信任。
2021 年	10 月 10 日	イラク国民議会選挙実施（投票率 43%）
2022 年	1 月 9 日	ハルブーシー国民議会議長が再選出
	10 月 13 日	アブドゥルラティーフ・ラシード大統領が選出され、同大統領がムハンマド・スーダーニー氏を首相候補に指名。
	10 月 27 日	国民議会においてスーダーニー首相及び（23 閣僚中）21 閣僚が信任され、スーダーニー政権が発足。
	12 月 3 日	国民議会において、未信任の 2 閣僚が信任。
2023 年	12 月 18 日	クルディスタン地域 3 県を除くイラク 15 県において地方議会選挙実施。
2024 年	10 月 20 日	クルディスタン地域議会選挙実施。
	10 月 31 日	空席となっていた国民議会議長にマシュハダーニー元国民議会議長を選出。

イ ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2024 年

1 月)

2) Parliamentary Elections and Government Formation

In response to the Tishreen protests, a provisional government was formed in May 2020 under Prime Minister Mustafa Al-Kadhimi, and early elections for the Iraq Council of Representatives (CoR) were held in October 2021.⁴⁴ The elections saw the lowest turnout (43 per cent) since the fall of former President Saddam Hussein in 2003, which was described by observers as signaling widespread public disillusionment with the political system.⁴⁵ The UN Assistance Mission for Iraq (UNAMI) documented some election-related violence, primarily “in the forms of threats and intimidation against candidates and their campaign teams”.⁴⁶

Partly as a result of a new electoral system introduced in November 2020,⁴⁷ political forces affiliated with Shi’ite cleric Muqtada Al-Sadr (the Sadrist Movement)⁴⁸ gained the highest number of seats at the expense of the *Fatah* Alliance, upsetting the previous balance among the Iraqi political elite and in the Shi’ite camp in particular.⁴⁹ Fatah is closely associated with the PMF⁵⁰ and includes the political wings of armed factions such as *Asaib Ahl Al-Haq* and *Kataib Hezbollah*, which are closely affiliated with Iran’s IRGC.⁵¹

Two political blocs emerged from the elections:

1) The Tripartite Alliance (rebranded later as the “Saving the Homeland Alliance”), a cross-sectarian coalition that included the Sadrist Movement led by Muqtada Al-Sadr; the Sunni Sovereignty Alliance, headed by Muhammad Al-Halbousi of the *Taqaddum* Party (Progress Party); and the Kurdistan Democratic Party (KDP) led by Masoud Barzani;⁵² and,

2) The Coordination Framework, including the Fatah Alliance headed by Hadi Al-Amiri of the Badr Organization; Ammar Al-Hakim’s *Hikma* bloc; former Prime Minister Nouri Al-Maliki’s State of Law coalition; and former Prime Minister Haider Al-Abadi’s *Nasr* coalition. The Patriotic Union of Kurdistan (PUK) is also part of the CF.⁵³

...

The Saving the Homeland Alliance’s inability to form a majority coalition and disagreements between the two Kurdish parties, the KDP and the PUK, over appointing a presidential candidate led to a prolonged political stalemate.⁵⁸ On 12 June 2022, 73 legislators from Al-Sadr’s bloc resigned *en masse* in an unsuccessful bid to break the deadlock,⁵⁹ enabling the rival Coordination Framework to obtain the majority with 138 seats through redistribution.⁶⁰

Disagreements between political factions throughout mid-2022 resulted in protests, the occupation of government buildings and violent clashes in Baghdad and southern Iraq.⁶¹ On 13 October 2022, the CoR elected Abdul Latif Rashid, the PUK’s candidate, as President of Iraq, who then named Al-Sudani as Prime Minister-designate.⁶² On 27 October 2022, more than one year after the elections, the CoR swore in Prime Minister Al-Sudani and his new cabinet.⁶³

...

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

<参考>UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2019 年 5 月)

1)2018 年 5 月 国会選挙

2018 年 5 月 12 日、イラクにおいて 2017 年末の ISIS の降伏以来初となる国会選挙が実施された。宗派間で広く提携がみられた 2014 年や 2010 年の選挙とは異なり、2018 年選挙では宗派内の分断、ないしシーア派、スンニ派、クルド人の間の分裂状態という特徴があると伝えられている。

選挙ではシーア派の二つの派閥が最大勢力となった。その一つはシーア派の聖職者ムクタダ・アル＝サドル [Muqtada Al-Sadr] (「アル＝サイロン [Al-Sairoon]」) を代表とする政党連合であり、もう一つはバダー [Badr Organization] のハディ・アル＝アミリ [Hadi Al-Amiri] によって率いられる、イラン支援のファタハ同盟組織であるが、これは主にシーア派人民動員隊 [Shi'ite Popular Mobilization Forces (PMF)] と連携する準軍事組織である。ハイダー・アル＝アバディ [Haider Al-Abadi] 前首相派の議員連合は第三勢力となった。膠着状態のまま数ヶ月が過ぎたのち、2018 年 10 月、クルディスタン愛国連合 [Patriotic Union of Kurdistan (PUK)] のバルハム・サリフ [Barham Saleh] が大統領に選出され、彼は同様に無所属シーア派の政治家で副首相、石油大臣も歴任したアデル・アブドゥル・マフディ [Adel Abdul Mahdi] を首相に任命した。

2. 治安／人権状況

(1) 概況

<2024 年 12 月 26 日更新>

ア 外務省「[イラク基礎データ](#)」(2024 年 12 月 2 日)

2) 治安状況

ア イラク駐留米軍は、2010 年 8 月に戦闘任務を終了し、5 万人規模に縮小。2011 年 12 月に全ての部隊が撤収。

イ 2014 年 6 月以降、モースル市を始めとするイラク北部・西部の多くの都市が ISIL を始めとする武装勢力により占拠された。2015 年以降、米国が主導する「有志連合」の支援を受けたイラク軍が ISIL 掃討作戦を進め、2017 年 12 月、イラク全土の ISIL からの解放宣言がなされた。テロ分子の掃討作戦は継続している。

ウ 2020 年 3 月以降、米国主導の「有志連合」は、対 ISIL 作戦の進捗等を踏まえて、イラク駐留軍の削減又は再配置を実施。2021 年 1 月時点で、駐留米軍は 2500 人まで削減。

エ 2021 年 12 月末をもって米軍主導の「有志連合」は戦闘任務を終了し、助言・訓練・情報協力任務に移行。

イ 外務省海外安全ホームページ「[イラクの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）](#)」（2024 年 2 月 13 日）

【ポイント】

- 2023 年 10 月中旬以降、米国を含む有志連合軍が駐留する基地を標的として、「イラクのイスラム抵抗」と称する民兵組織によるドローンやロケットによる攻撃が頻繁に発生しています。バグダッド国際空港と隣接しているバグダッド外交支援センター（以下、「BDSC」。米国をはじめとする有志連合軍が常駐。）や米国大使館、イラク政府施設にもロケット攻撃がそれぞれ発生しています。今後の情勢如何により、治安情勢が急変する可能性も否定できません。

...

＜参考＞外務省海外安全ホームページ「[イラクの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）](#)」（2019 年 1 月 24 日）

- (1) 2014 年 6 月以降、ISIL がイラク北部及び西部を中心に勢力を拡大させていましたが、有志連合の支援を受けたイラク軍による掃討作戦を経て、2017 年 12 月 9 日には、ISIL からのイラク全土解放が宣言されました。しかし、2018 年 1 月 15 日にバグダッドで自爆テロが、また、2018 年 11 月 8 日にはモースルで自動車爆弾テロが発生したほか、ISIL の休眠細胞等がニナワ県、アンバール県、サラーハディーン県、キルクーク県等の一部地域でテロ活動を活性化しています（国連の発表によれば、2018 年 8 月時点でイラク及びシリアには ISIL の要員が約 2～3 万人残っているとされています。）。
- (2) 2018 年 7 月以降、中南部・南部諸県を中心に、反汚職、公共サービスや高い失業率の改善等を求めるデモが発生しています。2018 年 7 月上旬より、バスラ市及びその近郊では過激化したデモ隊と治安当局との断続的な衝突により多数の死傷者が発生しています。特に金曜日・土曜日や夜間帯にデモの規模が拡大する傾向がありますので移動は避けるなど最大限の警戒が必要です。
- (3) 2018 年 5 月 12 日に国民議会選挙が実施され、8 月に連邦最高裁による選挙結果の最終確定し、10 月に新政権が発足しておりますが、依然として政治勢力間の対立は収束しておらず、今後の政治的な動向次第では、過激な抗議デモや突発的なテロ事案等が発生するおそれがあります。
- (4) イラク国内の治安情勢は、周辺諸国等の動向等に影響されやすく、比較的安定している地域においても、急速に悪化する可能性があります。

ウ ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」（2024 年 1 月）

A. Refugee Protection under the 1951 Convention

UNHCR considers that individuals falling in one or more of the following risk profiles may be in need of international refugee protection, depending on the particular circumstances of the case.

- 1) Individuals suspected of supporting Da'esh;⁵
- 2) Individuals opposing, or perceived to be opposing, the Government, influential officials or politicians, or the Iraqi Security Forces (ISF),⁶ including Popular Mobilization Forces (PMF)⁷ factions operating outside State control;
- 3) Individuals opposing, or perceived to be opposing, the Kurdistan Regional Government (KRG) or those affiliated with the KRG;
- 4) Individuals opposing or perceived to be opposing Da'esh;
- 5) Members of religious and minority ethnic groups and individuals perceived as contravening strict Islamic rules;
- 6) Journalists and other media professionals who engage in critical reporting on political or other sensitive issues;
- 7) Humanitarian workers;
- 8) Women and girls;
- 9) Children;
- 10) Individuals with psychosocial or intellectual disabilities;
- 11) Individuals with diverse sexual orientations, gender identities, gender expressions and/or sex characteristics (SOGIESC);
- 12) Individuals targeted as part of tribal conflict resolution, including blood feuds;
- 13) Palestinian refugees.
- ...

E. Position on Forced Returns

In light of continued human rights violations and abuses, the weak rule of law, ongoing community tensions and localized insecurity, the contamination of homes and lands with ERW, as well as limited rehabilitation of homes and basic infrastructure and constraints on access to livelihoods and basic services, UNHCR urges States to refrain from forcibly returning persons who originate from areas previously or currently impacted by the conflict with Da'esh to their areas of origin. UNHCR also advises against the forcible return of these persons to other parts of Iraq if there is a risk that they may not be able to access and/or reside in these areas, or that they will otherwise end up in a situation where they have no choice but to return to their area of origin.

Furthermore, UNHCR advises against the forcible return of persons originating from areas impacted by the ongoing regional conflict in northern Iraq in light of the conflict's impact on civilians and civilian infrastructure and livelihoods.

B. Main Security Developments

Six years after the conclusion of large-scale military operations against Da'esh in 2017,¹²⁹ the overall security environment has improved.¹³⁰ Yet, in areas under control of the Federal Government and in the disputed territories, the security situation remains fragile and unpredictable.¹³¹

The PMF (at times operating outside State control) as well as Da'esh are reported to be the key actors responsible for security-related incidents in their respective areas of presence or influence.¹³² In 2023, the Armed Conflict Location & Event Data Project (ACLED) recorded 4,479 security events, including explosions/remote violence (2,885 incidents), battles (1,154), violence against civilians (381) and riots (59).¹³³ In 2023, the UN Department for Safety and Security (UNDSS) recorded 2,056 “terrorist” incidents by and against armed actors in 2023. The majority of these incidents were recorded in Baghdad, Al-Anbar, Ninewa, Kirkuk, Salah Al-Din, Diyala, and Missan.¹³⁴ The blog Musings on Iraq recorded a total of 215 security incidents which were attributed to either Da'esh or pro-Iran Shi'ite militias.¹³⁵ Incidents involving Shi'ite militias increased significantly following the outbreak of conflict in Gaza in October 2023,¹³⁶ and there are concerns about Iraq being drawn into a wider regional conflagration.¹³⁷

...

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

<参考> UNHCR [「イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討」](#) (2019 年 5 月)

1) Refugee Protection under the 1951 Convention Criteria and Main Categories of Claim

UNHCR の見解によれば、ケースの個別事情に応じて、以下に掲げるリスク特性の 1 つ又は複数に該当する個人が国際難民保護を必要とする可能性がある。

1. イラク及びアル・シャームのイスラム国 (ISIS) を支持していると誤って疑われた人々、...
2. 政府と関係がある人々、又は政府を支持しているとみなされた人々、...
3. 政府若しくは政府関係者に反対している人々、又は反対しているとみなされた人々、...
4. クルディスタン地域政府 (KRG) 若しくは KRG 関係者に反対している人々、又は反対しているとみなされた人々、...
5. 宗教団体及び少数民族集団の構成員。
6. ジャーナリスト及びその他のメディア関係者。
7. 人道支援活動家。
8. 一定の特性を有する女性及び少女、又は特定の状況下に置かれた女性及び少女、...

9. 一定の特性を有する子ども、又は特定の状況下に置かれた子ども、...
10. 多様な性的指向又は性同一性を有する人々；
11. 血讐を含む、部族間の紛争解決の一環として標的にされた個人；
12. パレスチナ難民。

このリストは必ずしも網羅的なものではない。ここで特定された特性のいずれにも該当しないというだけで、自動的に請求に法的根拠がないと考えるべきではない。また、ケースの特定の状況によっては、迫害の危険にさらされていると判断された個人の血縁者又はその家族のその他の構成員も、迫害の危険にさらされている個人との関係に基づいて国際的な保護を必要とする場合がある。

その後、2018 年を通じて一貫して攻撃が減少したため、ISIS に対する大規模軍事作戦の大部分は終了した。全体としては安全面での向上が見られる一方、特に依然 ISIS 兵士が存在しているため情勢が不安定のままだと伝えられているかつての ISIS 支配下地域においては危険な状態が続いている。市民は「攻撃の矛先」を向けられたままである。

<参考>UNHCR [「イラクへの帰還に関する UNHCR の見解（仮訳）」](#)（2016 年 11 月 14 日）

47. 現状では、UNHCR は、イラクの諸地域のうち軍事行動の影響を受けている地域、ISIS からの奪還後も脆弱かつ不安定な状況が続いている地域または依然として ISIS の支配下にある地域出身のいかなるイラク人に対しても、帰還を強制することがないよう各国に要請する。このような人々（国際保護の申請が不認定とされた者を含む）は、出身地域にも同国の他の地域にも帰還させられるべきではない。これらの地域出身のイラク人の多くは、難民の地位に関する 1951 年の条約の要件を満たす可能性が高い 179。1951 年難民条約の基準が適用されないと判断される場合でも、…補完的形態の保護 181 が適用される可能性が高い。

<参考>UNHCR [「イラクへの帰還に関する UNHCR の見解（仮訳）」](#)（2014 年 10 月 27 日）

27. イラクの状況が非常に流動的で不安定であり、国内のすべての地域が現在進行中の危機の影響を、直接的あるいは間接的に受けている 111 という報告があることから、UNHCR は治安と人権状況が明白に改善されるまでは、イラク出身の人々112 を強制的に帰還させないよう各国に要請する。現在の状況下では、イラクから避難している人々の多くが 1951 年の難民条約に規定される難民としての地位に該当する可能性がある 113。イラク出身の人々の個々の事案を判断する際、難民条約が定める認定要件が当てはまらない場合は…補完的保護 115 が適用されるであろう。…

エ ●英国内務省「[国別政策及び情報ノート イラク：人道状況、2.0 版](#)」（2023 年 5 月）

概要

After the military defeat of ISIS in Northern Iraq in 2017, the humanitarian situation in Iraq has improved but remains fragile; characterised by internal displacement and limited access to sufficient housing, basic services and livelihood prospects.

The overall number of people in need in Iraq decreased by 41% from 4.1 million people in 2021 to 2.5 million people in 2022. Those in need are generally Internally Displaced Persons (IDPs) or those who have returned to their home areas of origin following the conflicts.

In general, the humanitarian situation in Iraq is not so severe that there are substantial grounds for believing that there is a real risk that conditions amount to torture or inhuman or degrading treatment as set out in paragraphs 339C and 339CA(iii) of the Immigration Rules/Article 3 ECHR.

In general, there are parts of the country where it will be reasonable for a person to relocate. Consideration must be given to a person's particular circumstances, civil documentation held and the details of where they originally lived in Iraq when assessing if internal relocation is viable.

Decision makers still need to read the assessment in full and use relevant country information as the evidential basis for decisions.

オ ○英国内務省「[国別政策及び情報ノート イラク：治安状況、1.0 版（仮訳）](#)」
入管庁ウェブ（2022 年 11 月）

<参考>英国内務省「[国別政策情報ノート：イラク：治安情勢及び人道状況、第 5.0 版（仮訳）](#)」（2018 年 11 月）

2.3.18 人道的状況は深刻であるが、国連によると、もはや「最も複雑かつ困難な人道的緊急事態の一つ」ではなくなっている（全般的な生活水準及び状況を参照）。

2.3.19 一般に、人道的状況は、申請者が資格指令第 15 条(a)項及び(b)項/欧州人権条約第 2 条及び第 3 条違反に直面する可能性が高く、申請者に人道的保護 (HP) を与えることが必要になるほど深刻なものではない。しかしながら、意思決定者は各事案をその実体に基いて検討しなければならない。状況が複雑に絡み合った結果、申請者が帰還時に資格指令 第 15 条(a)項及び(b)項/欧州人権条約第 2 条及び第 3 条違反に直面することになるような事案 があるかもしれない。個々の事案がこの閾値に到達するかどうかを評価するに際して、意思決定者は以下に

掲げる事項を検討しなければならない。

- 申請者の出身地はどこか（人道的状況がより深刻な地域があり、申請者がイラクをまだ出国していない場合、申請者が帰還時に IDP となるかどうかはこの深刻度によって影響を受ける可能性がある）
- 申請者個人のプロフィールと環境（年齢、性別及び民族性を含むがこれに限定されない）
- 申請者が支援ネットワークを利用できるかどうか。

...

2.3.32 2014 年以降、治安事件と死傷者数は全県で激減した。治安事件数はここ 15 年間で最も低いレベルにある。ダーイッシュがモスル（イラクで二番目に大きな都市）を占領した 2014 年夏以降、暴力による被害が最も大きかった 6 県－アンバール、バグダッド、ディヤーラー、キルクーク、ニーナワー、サラフディーン－では、全体的に治安事件数や死傷者数が大幅に、かつ、一貫して減少している。現在の数字は通常、2014 年中頃の 10 分の 1 になっている（治安事件、市民死亡者数及び市民負傷者数を参照）。

2.3.33 2015 年以降、国内避難民数は著しく減少してきており故郷に帰還する人々の数も大幅に増加してきている（国内避難民（IDP）の数及び帰還民数及び帰還地を参照）。

...

2.3.35 上述した理由に関して、イラクの全ての地域が第 15 条(c)項の高い閾値に関係するという AA での評価から逸脱することについて、説得力がある証拠によって裏付けられた極めて強固な根拠が存在する。これは、治安情勢がもはや深刻なものではないということを行っているのではなく、ただその地にいるというだけで、申請者がその生命又は身体を脅かす現実的なリスクに直面すると信じるに足る十分な根拠が存在すると言えるほどイラクのあらゆる地で無差別暴力が高いレベルにあるということはもはやないと言っているのである。

カ HRW「[ワールドレポート 2020 - イラク](#)」（2020 年 1 月 14 日）

治安部隊は、10 月と 11 月に、バグダッドとイラク南部の都市において、抗議行動に対して過剰な力を行行使し、数百人を殺害した。集会及び表現の自由、並びに女性の権利に対するその他の侵害も依然として続いていた。同時に、水、健康、及び健康的な環境を享受する権利に対しても、依然として侵害が続いていた。また、イラク政府は、大規模な形で継続的に死刑を適用した。

(2) 地域別

① バグダッド

ア 外務省海外安全ホームページ「[イラクの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）](#)」（2024 年 2 月 13 日）

【概況】

- レベル4：退避してください。渡航はやめてください。（退避勧告）（継続）
 - ・バグダッド県（レベル3であるバグダッド国際空港敷地内を除く）
 - ・ニナワ県
 - ・キルクーク県、サラハッディーン県、ディヤラー県、アンバール県、バービル県、ワーシト県
 - ・クルディスタン地域（エルビル県、スレイマーニーヤ県、ドホーク県）とレベル4地域であるニナワ県、キルクーク県、サラハッディーン県及びディヤラー県との県境付近

...

【ポイント】

...

- バグダッド県においては、2022 年 9 月までの政府形成プロセスに際し、大規模な抗議活動が頻発したほか、IZ 内外において銃撃戦やロケット攻撃などが発生しました。2022 年 10 月 27 日に挙国一致内閣であるスーダーニー政権の発足後は、国内の政治的には比較的平穏となっていますが、国内外の様々な政治・社会的な事象をきっかけとして大規模デモが引き続き見られます。また、民間人を標的とした誘拐・殺害事案等も散発的に発生しています。

【地域別情勢】

- 1 レベル4：退避してください。渡航はやめてください。（退避勧告）（継続）
 - ・バグダッド県（レベル3であるバグダッド国際空港敷地内を除く）
 - ・ニナワ県（以下に述べるニナワ平原経路幹線道路を除く）
 - ・キルクーク県、サラハッディーン県、ディヤラー県、アンバール県、バービル県、ワーシト県
 - ・クルディスタン地域（エルビル県、スレイマーニーヤ県、ドホーク県）とレベル4地域であるニナワ県、キルクーク県、サラハッディーン県及びディヤラー県との県境付近

（1）バグダッド県から北方のクルディスタン地域方面に通じるニナワ県、キルクーク県、サラハッディーン県及びディヤラー県やバグダッド県西方のシリア・ヨルダン国境に通じるアンバール県では、米軍の支援を受けたイラク治安部隊による ISIL 残党の掃討作戦が継続しています。

これら地域の一部では、当局との軍事衝突に加え、治安部隊や一般市民を標的として、幹線道路や市街地を含めた場所で、爆破、放火、銃撃事件が散発し、死傷者が発生しています。サラハッディーン県南部では、2023 年 8 月、ISIL との銃撃戦の末に仏軍兵士 1 人が死亡、仏軍兵士 3 人及びイラク軍兵士 5 人が負傷

する事案も発生しています。

(2) バグダッド県では、イラク政府による首都治安対策の強化によりテロ事案件数が減少していますが、いわゆるバグダッド・ベルト地域（バグダッド県周辺部）では、テロ・犯罪事案が依然として発生しています。

(3) バービル県やワシット県では、バグダッド県との境界付近において、ISIL 残党などの反政府組織による活動・拘束事案が報告されています。また、米国軍を含む有志連合軍への物資運搬車列が走行中に簡易爆弾による攻撃を受ける事案も、減少しつつも依然として発生しています。

(4) ニナワ県モースル郡では、バアシーカのトルコ軍駐留拠点を標的とするロケット攻撃やドローン攻撃が発生し、トルコ兵が死傷しています。

(5) アンバール県では、2023 年 10 月 7 日以降、いわゆる「イラクのイスラム抵抗」と称する民兵組織による、イラク軍施設（米軍を含む有志連合軍が駐留するアイン・アルアサド基地）を標的としたドローンやミサイル攻撃が断続的に発生しています。

(6) ついては、上記 1 で述べた地域への渡航は、いかなる目的であれやめてください。また、既に同地域に滞在されている方々は、直ちに退避してください。

...

<参考>外務省海外安全ホームページ「[イラクの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）](#)」（2019 年 1 月 24 日）

- (1) ニナワ県（ニナワ平原経由幹線道路を除く）、キルクーク県、サラーハッディーン県、アンバール県、バグダッド県（バグダッド国際空港敷地内及び IZ を除く）、ディヤーラ県、バービル県、ワシット県並びにクルディスタン地域（エルビル県、スレイマーニーヤ県及びドホーク県）のうちニナワ県、キルクーク県、サラーハッディーン県及びディヤーラ県との県境付近（ニナワ平原経由幹線道路を除く）（更新）

レベル 4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）（継続）

ア ISIL 勢力への「勝利宣言」はなされたものの、イラク北部及び西部のニナワ県、キルクーク県、サラーハッディーン県、ディヤーラ県、アンバール県では、米軍の支援を受けたイラク治安部隊等による ISIL 残党の掃討作戦が継続しています。一部地域では、イラク軍などによる空爆も行われています。ISIL 分子によるテロ活動等で治安部隊や一般市民に対する攻撃が続いており、多数の死傷者が発生しています。

また、これらの地域では、幹線道路や市街地等のみならず、あらゆる場所で爆破事件や銃撃事件が多数報告されています。

イ バグダッド県では、イラク政府による首都治安対策の強化により、テロ・犯罪の事案件数は減少していますが、いわゆるバグダッド・ベルト地域（バグダッド県周辺部）でテロ・犯罪事案が依然として多発しています。バグダッド市内においても、大規模な爆弾テロや自爆テロが断続的に発生し、多数の死傷者

が出るなど、治安状況は引き続き不安定な状況が続いています。

また、バグダッド市内では、金曜日・土曜日を中心に反汚職や公共サービス改善を求める大規模なデモがたびたび発生し、治安部隊との衝突による負傷者発生が報告されています。

ウ バービル県やワースト県では、バグダッド・ベルトに近い地域における ISIL などの反政府組織による活動・拘束事案が引き続き報告されています。

エ これらの地域への渡航は、目的の如何を問わず止めてください。また、同地域に滞在されている方々は、十分な警備措置を講じた上で直ちに国外へ退避してください。

イ ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2024 年 1 月)

a) The PMF as a Source of Instability

...

Intra-Shi'ite divisions, primarily between the Sadrist Movement, described as "Iraq's most powerful socio-political movement",¹⁶⁹ and Iran-aligned political parties and armed factions intensified in the aftermath of the October 2021 parliamentary elections.¹⁷⁰ In November 2021, PMF factions were held responsible for the assassination attempt against (then) Prime Minister Mustafa Al-Kadhimi.¹⁷¹ PMF factions engaged in tit-for-tat killings and attacks on rival party offices,¹⁷² and in late August 2022 heavy clashes broke out between fighters and supporters loyal to Al-Sadr and IRGC-linked PMF factions in Baghdad's International Zone that resulted in dozens dead and hundreds injured.¹⁷³ The unrest, which was triggered by Al-Sadr's announcement that he would step back from politics, was considered the most serious crisis since the defeat of Da'esh in 2017.¹⁷⁴ During the parliamentary session that was convened to elect Iraq's new President on 13 October 2022, Sadrists reportedly fired rockets into the International Zone.¹⁷⁵ Following the swearing in of the Government in late October 2022, open intra-Shi'ite antagonism temporarily subsided; however, renewed violence was reported in July 2023 when Sadrists reportedly attacked rival party offices.¹⁷⁶

...

b) Da'esh Insurgency

...

Da'esh also remains active in Al-Anbar,²⁰⁸ Babel,²⁰⁹ Baghdad,²¹⁰ Erbil (Makhmour District),²¹¹ and Ninewa Governorates.²¹² The decrease in attacks in its former strongholds Al-Anbar and Ninewa is linked to Da'esh's strategic decision to use these border areas with Syria as logistics and smuggling hubs.²¹³ Da'esh is reported to lack operational space and support in urban areas and the predominantly Shi'ite South, and its attempts to launch attacks there, particularly during religious celebrations, are regularly intercepted.²¹⁴

...

<参考> [UNHCR「イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討」](#) (2019 年 5 月)

3) バグダッドにおける治安

2018 年から 2019 年にかけて全体的に治安の向上が見られるなど、バグダッドにおける情勢は概ね安定しつつあると伝えられている。2018 年を通じて ISIS の残兵は依然バグダッド郊外（「バグダッド・ベルト地帯」）の小さな町で活動を続けており、時折市民を標的に即製爆発装置を用いた攻撃を行っている。しかしながら、報道によると彼らの大規模攻撃を仕掛ける能力は大きく減少した。2019 年初頭には ISIS が概ね撤退したと伝えられ、ISF がバグダッド・ベルト地帯の支配を確立したことによって、安全上の問題はさらに減少した。しかし 2019 年 4 月には ISIS がバグダッド・ベルト地帯の南西地区に勢力地域を拡大しようと模索していると伝えられている。

近年ほぼ毎日のように報じられていた政治的理由や身代金目的の誘拐に関しては、2018 年から 2019 年にかけて減少したと報じられている。しかしバグダッドでは依然重要人物の暗殺事件が続いている。

② カルバラ県を含む南部地域

ア 外務省海外安全ホームページ [「イラクの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）」](#) (2024 年 2 月 13 日)

2 レベル 3：渡航はやめてください。（渡航中止勧告）（継続）

...

・中南部・南部 7 県（カルバラ県、ナジャフ県、ディワーニーヤ県、バスラ県、ムサンナー県、ズィーカール県、ミーサーン県）

...

<参考> 外務省海外安全ホームページ [「イラクの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）」](#) (2018 年 4 月 4 日)

●中南部 3 県（カルバラ県、ナジャフ県、ディワーニーヤ県）

レベル 3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）

（やむを得ない事情で現地に渡航・滞在する場合には、所属企業や団体等を通じて組織としての必要かつ十分な安全対策をとってください。）（引き下げ）

...

●カルバラ県、ナジャフ県及びディワーニーヤ県では治安当局による特に厳重な警備措置が施されており、今後、テロ等により治安を不安定化させるようなこと

が起こる可能性は低いと見られ、治安状況が改善傾向にあるため、危険度をレベル4からレベル3に引き下げます。

- イラクでは、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）による、テロ、一般犯罪、部族間抗争、デモ・抗議行動、トルコによる PKK（クルディスタン労働者党）拠点への攻撃等の脅威が混在していますので、レベル3以上の地域は、原則、どのような目的であれ渡航は止めてください。

...

ア イスラム教シーア派にとって重要な巡礼地を有するカルバラ県、ナジャフ県は治安当局による特に厳重な警備措置が施されており、ナジャフ県の南に位置するディワーニーヤ県においても同様の警備措置が行われています。当該各県の治安関係者はいずれもイスラム過激派によるテロ攻撃を脅威と認識し、厳重な警備体制を敷いているため、今後も、大規模テロの頻発等により治安が急速に不安定化するような事案が起こる可能性は低いと見られます。

イ 比較的大きな事案としては、2017年6月、カルバラ市内の駐車場で1人が死亡、7人が負傷する爆弾テロ、同年8月12日にはカルバラ郊外の検問所で1人が死亡、2人が負傷する爆弾テロが発生しましたが、同事件以降、2018年3月現在、テロ事件は発生してません。また、これら3県の主たる事件形態である地元住民間の抗争が原因の殺人、誘拐、銃器を用いた強盗事件等の発生件数も大幅に少なくなっているなど、同地域尾治安状況は、中、長期的に比較的安定傾向にあることから、同3県の危険レベルを「レベル3」に引き下げます。しかしながら、日本人を含む外国人が、何らかの事件に巻き込まれる可能性は排除できませんので、どのような目的であれ渡航は止めてください。

イ ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」（2024年1月）

1) Security in Federal Iraq and the Disputed Territories¹⁴³

...

Feuds between tribes are another security risk affecting civilians,¹⁵⁰ especially in southern Iraq.¹⁵¹ The security situation is further impacted by high levels of criminality as various actors, including criminal gangs, security actors, Da'esh and tribes exploit the weak state of the rule of law. Violent crime such as armed robberies, killings and abduction for ransom,¹⁵² the trafficking of drugs, weapons, and oil,¹⁵³ as well as clashes and targeted killings over political influence and illicit economic interests, are rife.^{154...}

<参考>UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」（2019年5月）

4) 南部県の安全保障⁹⁷

2014 年後半、かなりの数の ISF メンバーが、ISIS と戦うために、南部から国内の他の地域に配備された。それ以来、犯罪組織、民兵、部族が、その後に生じた安全保障の空白地帯に手を伸ばしてきたと報告されている⁹⁸。凶器を使った強盗、身代金目的又は脅迫目的の誘拐⁹⁹、麻薬取引、みかじめ料の恐喝はもちろんのこと、部族間の抗争も頻発していると報告されている¹⁰⁰。部族間の抗争は、銃による暴力行為と重火器の使用さえ伴うことも多く、その結果、その場に居合わせた人々の間に死傷者が発生している¹⁰¹。部族は、たいていの場合、脅迫手段として、小型の IED（簡易爆発物）を使用していることも報告されている¹⁰²。2018 年に行われた調査によると、バスラに住む多くの民間人が、その前の年に暴力行為を受けていた¹⁰³。また、特に女性をはじめとする大多数の者が、近い将来に自分自身が暴力行為の犠牲者に「なりそうだ」又は「ややなりそうだ」と考えていた¹⁰⁴。

2018 年には、汚職、政府の怠慢、失業、不十分なサービスに対する抗議行動¹⁰⁵が、バスラや他の南部の都市で起きた¹⁰⁶。一部の抗議行動は暴動へと発展し、抗議行動に参加した人々や治安部隊の間に死傷者が発生してしまった¹⁰⁷。地元の安全保障が強化され、夜間外出禁止令が出された後¹⁰⁸、この状況は落ち着いたと報告されている。抗議行動を組織した人々は、民兵から殺害の脅迫を受けて、抗議行動の継続を一時中断することを決断したと報告されている¹⁰⁹。抗議行動のリーダーや参加者のうちの何人かが、2018 年 9 月及び 10 月に暗殺されたとも報告されている¹¹⁰。なお、本文書を執筆している時点では、抗議行動は続いており、暴力行為が散発していることが報告されている¹¹¹。

97 本文書では、バベル、バスラ、ズィカール、カルバラ、マイサーン、ムサンナー、ナジャフ、カーディシーヤ、及びワーストの各県を「南イラク」と呼ぶ。

3. 関係する政治組織、政治活動／政府批判（労働運動含む）

(1) 反政府抗議デモ等の取扱い

<2024 年 12 月 26 日更新>

① 連邦政府地域

ア ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」（2024 年 1 月）

1) Popular Protests

a) Protests in Federal Iraq

In October 2019, a mass popular movement engulfed Baghdad and southern Iraq,²¹ which became known as the Tishreen (October) uprising.²² Largely led by unaffiliated youth,²³ the protesters called for broad political reforms,²⁴ complaining against “widespread corruption, unemployment and poor public services”.²⁵ Between 29 October and 4 November 2019, the number of protestors reached an estimated one million in Baghdad alone.²⁶

The ISF, including PMF factions operating outside State control,²⁷ responded with force

to the protests, including by using stun grenades, tear gas and live ammunition, as well as harassment, arbitrary arrest and detention, abduction, torture, and extrajudicial killing of protestors, activists and others seen as supporting the protest movement.²⁸ At least 600 protestors died and many more were injured in the first few months of the protests.²⁹ In some cases, protestors reportedly used force against members of security forces and militias, and burned and destroyed government and political party offices.³⁰ The growing unrest forced the resignation of Prime Minister Adel Abdul Mahdi and his cabinet in late November 2019.³¹

Protests continued into March 2020, but increasingly weakened for various reasons, including divisions over the response to a targeted US drone strike, which killed General Qassem Soleimani, head of the Iranian Islamic Revolutionary Guard Corps (IRGC), and Abu Mahdi Al-Muhandis, deputy chief of the Popular Mobilization Committee on 3 January 2020;³² the COVID-19 pandemic and related lockdown measures; as well as the severe repression of the protest movement.³³ Yet, violence against protestors and activists continued.³⁴ Protests commemorating the third anniversary of the Tishreen protests in October 2022 were met with tear gas and rubber bullets, leaving dozens of civilians injured.³⁵

Mustafa Al-Kadhimi, who was appointed as Prime Minister in May 2020, ordered the release of detained protestors,³⁶ financial compensation for the victims' families³⁷ and the establishment of a fact-finding commission on the government's response.³⁸ However, there has been limited progress towards accountability for violations perpetrated during the Tishreen protests.³⁹

A. Risk Profiles

...

2) Individuals Opposing, or Perceived to Be Opposing, the Government, Influential Officials or Politicians, or the ISF, Including PMF Factions Operating Outside State Control

Individuals who criticize, or are perceived to criticize, government officials or influential politicians (particularly those with connections to armed groups), or the ISF (including PMF factions operating outside State control), as well as individuals who call for political change, or who report corruption or abuse by these actors,⁸²³ are reported to be targeted for violence by these actors.⁸²⁴ During his visit to Iraq in August 2023, the UN High Commissioner for Human Rights “raised concerns about shrinking civic space and encouraged the Government to protect journalists, activists and human rights defenders from intimidation and interference.”⁸²⁵

Those being targeted include a number of partially overlapping profiles, such as journalists and other media professionals;⁸²⁶ civil society activists;⁸²⁷ human rights

defenders;⁸²⁸ political analysts;⁸²⁹ and protestors.⁸³⁰

According to reports, individuals are also singled out solely on account of their political views expressed on social media.⁸³¹

...

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

イ ●DFAT「[DFAT 出身国情報報告 イラク](#)」(2023 年 1 月 16 日)

Protesters and demonstrators

...

3.87 A wave of nationwide protests known as the Tishreen protests commenced at the beginning of October 2019 (see Security situation). Participants were subjected to regular violence by various parts of the security forces, including masked men who were widely assumed to be from Iraq's many militias. Some protesters also committed violent acts. According to the Iraqi High Commission for Human Rights, 591 protesters were killed and 54 reported missing between October 2019 and May 2021.

3.88 Many protesters were threatened, beaten, and arbitrarily detained by intelligence services during and after the protests. Security forces abducted dozens of protesters in the period between early October and December 2019 in several governorates, including in the cities of Baghdad, Amarah and Karbala, releasing most within days or weeks. Some were assassinated or disappeared. Others targeted by security forces included lawyers representing the protesters, medics treating injured protesters, people feeding protesters and journalists covering the protests (see also Media).

3.89 In 2021, former Prime Minister Kadhimi ordered an official investigation into the deaths and injuries of protesters and security forces related to the Tishreen protests. The investigation found excessive force by security forces had killed 149 protesters and eight members of security forces, with over 70 per cent of the deaths caused by shots to the head or chest. Many were killed or injured by teargas cannisters intentionally fired at their heads. The investigation has yet to hold anyone accountable.

3.90 Sources told DFAT that following the crackdown on the Tishreen movement, most protesters desisted from political activities, went underground or fled to the KRI, where they reportedly felt safer. Others joined political parties. Sources told DFAT that protesters who were no longer politically active were unlikely to face violence or harassment. Those who remain active are often harassed by armed groups, including through veiled threats, bullets in the mail or written threats known as 'night letters'. Some are targeted for violence. In September 2022, PMF forces detained and allegedly tortured four prominent Tishreen activists in Diwaniyah whom they accused of being part of a 'Ba'athist plot' (see also Persons accused of links to the Ba'ath Party). Two of the activists

died shortly after being released.

...

ア [HRW「ワールドレポート 2020 - イラク」](#) (2020 年 1 月 14 日)

10 月上旬から 12 月にかけて、バグダッドとイラク南部の都市で行われた抗議行動において、治安部隊との衝突により、少なくとも 350 人の参加者が死亡した。治安部隊は、バグダッドでは、実弾に加えて催涙ガス弾も発砲した。時には直接参加者に向けて発砲し、少なくとも 16 人を殺害した。治安部隊は他の都市でも実弾を使用した。

当局は、抗議行動に参加した人々を恣意的に拘禁し、その後起訴することなく釈放したが、なかには行方不明になった者もいた。フェイスブックのメッセージ上で抗議行動への支持を表明しただけで、治安部隊に逮捕されてしまったイラク人もいた。

治安部隊は、抗議行動に参加した人々を治療していた医者に対しても脅迫し発砲した。

② クルド地域

ア ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2024 年 1 月)

b) Protests in the Kurdistan Region of Iraq⁴⁰

Discontent over corruption, worsening economic conditions, as well as constant delays in payments of and cuts to salaries of public employees resulted in popular protests across the Kurdistan Region of Iraq (KR-I) in August 2020 and August 2022, as well as some smaller, more localized protests.⁴¹ These were met with excessive force by the Kurdish security forces.⁴² Protestors, activists, human rights defenders, journalists and others critical of the KRG authorities, the dominant ruling parties or others with political influence have been subjected to harassment, arbitrary arrest, detention and politically motivated prosecutions.⁴³

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

イ ○英国内務省「[国別政策及び情報ノート イラク:イラク・クルド人地域\(KRI\)における政府への反対、3.0 版](#)」(2023 年 7 月)

(2) インターネット上での政府批判者の取扱い

ア [HRW「ワールドレポート 2020 - イラク」](#) (2020 年 1 月 14 日)

...フェイスブックのメッセージ上で抗議行動への支持を表明しただけで、治安

部隊に逮捕されてしまったイラク人もいた。

...

イラク政府は、人々が抗議行動の写真やビデオをアップロードしたり共有したりしないよう、繰り返しインターネットを制限し、メッセージアプリをブロックした。

イ ○Landinfo「[イラク：権力者または団体に対するソーシャルメディア上の批判に関連するリスク \(Irak: Risiko forbundet med kritikk i sosiale medier mot maktpersoner eller -instanser\)](#)」EUAA COI Portal (2023 年 1 月 6 日)

(3) 元バース党関係者の取扱い

① 元バース党関係者に関する基本情報

ア 英国内務省「[出身国情報及びガイダンス イラク：バース党関係者、第 1.0 版](#)」(2016 年 11 月)

2.32 ...時折(例えばデンマークの移民局によるインタビューなどの情報源の中で)イラクにいる全ての人々が実質的にバース党に参加している、あるいはバース党と関係性を持っていると述べられているが、最も信頼できる数値データをもたらす高等国家脱バース化委員会(HNDC)は、サダム・フセイン政権を倒した 2003 年の侵攻時において、およそ 40 万人の正党员が存在し、15 万人は行政機関、25 万人は防衛部隊に所属し、そのうち 6 万 5 千人は最高位の党员であると見積もっている。HNDC によると、党员と党の支持者を加えた人数は合わせて 120 万人から 200 万人(最も多く見積もった場合、総人口の 5.5%)に上ると予測される。(規模と構造を参照せよ。)

2.3.3 (特に高位の)バース党の党员は主に(絶対ではないものの)スンニ派アラブ人のコミュニティで集められている。...

イ オーストラリア難民再審査審判所 (RRTA)「[カントリー・アドバイス \[IRQ38656\]](#)」(2011 年 5 月 6 日)

...バース派という用語が一般的にスンニ派アラブ人を表す言葉として理解されていることは注目すべきだ。

② 元バース党関係者の一般的な取扱い

ア 英国内務省「[出身国情報及びガイダンス イラク：バース党関係者、第 1.0 版](#)」(2016 年 11 月)

2.3.9 一般的にバース党へのかつての関与を理由として、深刻な危害や迫害が加えられるという恐れはない。しかしながら、ある人が危険にさらされる個人的状

況が発生する可能性があるため、全ての事案はその詳細に基づいて評価されなくてはならない。それには以下の要素が含まれる。

- バース党の中での位置や役職
- 特定の活動に関与していたか、あるいはバース党政権による様々な残虐行為に関与していたか
- これらの活動や彼らの活動履歴が、彼らが恐れる人々の敵視をもたらしているか
- ...

3.1.2 バース党との繋がりによって、国家(及び/あるいは)シーア派民兵組織から深刻な危害や迫害が加えられる恐れのある状況が起こりうる。その人(あるいは親類)が何をしてきたか、そしてどのように政治迫害者による敵視がもたらされたかによって危険性は異なる。

イ オーストラリア難民再審査審判所 (RRTA) [「カントリー・アドバイス \[IRQ38656\]」](#) (2011 年 5 月 6 日)

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) によると、シーア派に独占されているイラク自衛軍 (ISF) や警察や特殊部隊の制服を着用している民兵組織は、定期的にスンニ派に属する者やバース党及び警備隊に属していた者を標的としている。シーア派民兵がイラク自衛軍と混ざってきたことや協力してきたことによって、政府関係者とそうでない者の間の境界が曖昧になっている。...

③ 元バース党関係者への政府による危害

ア 英国内務省 [「出身国情報及びガイダンス イラク:バース党関係者、第 1.0 版」](#) (2016 年 11 月)

2.3.5 「非バース化」に向けた正式な規定は、差別的かもしれないが、そのみで迫害に該当するものではない。しかし、資料は反テロ法のもとでの逮捕や然るべき手続きに基づかない勾留、そしてバース党との関係性を理由とした数千もの人々に対する拷問さえも指摘している。この様な扱いは迫害と呼ぶに値する。しかし、この様な扱いの証拠は 2013 年以降存在せず、差別的な扱いは強硬的な宗派指針を追求する Nouri al-Maliki 施政の特徴だったようである。Haider al-Abadi の新政権はスンニ派との和解を試みている。(反テロ法や第 5 チャプター「国家情報における政治的及び宗派的文脈とその手引き、イラク、スンニ派 (アラブ人)」を参照せよ。)

④ 元バース党関係者への非国家主体による危害

ア 英国内務省 [「出身国情報及びガイダンス イラク:バース党関係者、第 1.0 版」](#) (2016 年 11 月)

2.3.6 さらにより大きな集団は（おそらくスンニ派アラブ人だと思われる）バース党員であることを理由に非国家主体によって、おそらく偽りのそして悪意を持って訴追された人々である。このような訴追はサダム・フセイン政権崩壊以降の派閥間関係の悪化を現してきた。しかしながら、バース党への関与が主張されたことを理由として、そのように訴追を受けたり虐待を受けたり（あるいはその虐待を伴う行為）した人数についての証拠は少ない。（差別を参照せよ）

2.3.7 シーア派民兵はバース党員とされる者、あるいは実際にバース党員である者を標的とする可能性があるが、そのような標的化は組織的ではない。（リスク分析図を参照せよ）

2.3.8 バース党員の訴追は、特にスンニ派のイスラム国の反乱の後、スンニ派を標的とするより広範囲における動きと結びついている。人々や組織は普通のスンニ派を疑いの目で見つめ、イスラム国への賛同を理由に彼らを告訴した。

イ オーストラリア難民再審査審判所（RRTA）[「カンントリー・アドバイス \[IRQ38656\]」](#)（2011 年 5 月 6 日）

フセイン政権の崩壊以降、そして特に2005年選挙におけるシーア派の政権奪取以降、バース党の党員であることや、自身の役割や職業などを通じて前のイラク政府に加わるか関わっていた人々が主にシーア派民兵の組織的攻撃の対象となっている。イギリス内務省はかつてのバース党と政権のメンバーはもはや意図的に標的とされているわけではないとしているが、「彼らは個別の事件では今でも犠牲者となりうる。それは例えば、監禁や拷問、その他の人権侵害を働いた者に対するかつての犠牲者やその家族による個人的な復讐のためである。」

ウ オーストラリア難民再審査審判所（RRTA）[決定 \[事件番号 1201934\]](#)（2012 年 9 月 12 日）

53. バース党員として、又はその職務や職業故に、イラク旧政府と関わりを持っていた人々は、サダム・フセイン政権が崩壊して以来、また特に 2005 年の選挙でシーア派が政権を掌握して以来、主にシーア派民兵による組織的な攻撃の標的となっている¹。英国内務省の見解によれば、元バース党員や旧政府の職員は、組織的な攻撃の標的にはもはやなっていないが、「例えば、拘禁、拷問、その他の人権侵害の加害者に対する元犠牲者又はその家族による個人的な復讐により、個別のケースにおいては、今でも被害に遭う可能性がある」²。

...

57. 英国内務省の指摘によれば、サダム政権が崩壊して以来、バドル旅団（モハメッド・バクル・アル・ハキムがイランに亡命中に設立したシーア派民兵組織）は、旧公安職や旧諜報職の職員に加えて、元バース党幹部を多数殺害したとして非難されている。2005 年 1 月の選挙でシーア派が勝利した後、元バース党員に

対する攻撃が増加したと報告されている⁷。

(4) ISIS との関係を疑われる者、ISIS 戦闘員の家族の取扱い

<2024 年 12 月 26 日更新>

ア ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2024 年 1 月)

1) Security in Federal Iraq and the Disputed Territories¹⁴³

...

a) The PMF as a Source of Instability

...

Between 2014 and 2017, the PMF were at the forefront in the fight against Da'esh. They were implicated in numerous human rights violations, mostly against the Sunni Arab population, which was broadly perceived to be supporting Da'esh.¹⁶³ Since Da'esh's territorial defeat in 2017, the PMF has continued to carry out security operations, sometimes jointly with the Iraqi armed forces, in areas where Da'esh remains active.¹⁶⁴ The PMF are reported to employ oppressive practices against local populations, including Sunni Arabs in formerly Da'esh-held areas¹⁶⁵ and members of minority communities in ethnically and religiously mixed areas.¹⁶⁶ IRGC-linked factions are also reported to target those seen as critical of their political affiliations and human rights violations, including journalists, protestors and activists.¹⁶⁷ Government efforts to reign in and hold these factions accountable have been limited to date.¹⁶⁸

...

b) Da'esh Insurgency

...

Regular counter-terrorism operations against Da'esh continue,²¹⁸ including air and drone strikes,²¹⁹ primarily in Al-Anbar, Diyala, Kirkuk, Ninewa and Salah al-Din Governorates.²²⁰ Security forces report frequent arrests²²¹ and killings of Da'esh suspects,²²² as well the dismantling of explosive devices, and the uncovering of weapons caches, safe houses and underground tunnels.²²³ Those arrested on account of their actual or perceived Da'esh affiliation are reported to be at risk of human rights violations at the hands of State security actors.²²⁴

...

3) Obstacles to Return

...

a) Return Obstacles for Families Associated with Actual or Perceived Da'esh Members

Among Sunni Arab and Turkmen IDPs, there are individuals and entire families who are affiliated or perceived to be affiliated with Da'esh or are associated with actual or perceived Da'esh members through family or tribal relations. They face severe stigmatization by their communities of origin as well as local leaders and public service providers and particular challenges to return to their areas of origin (or to relocate elsewhere).⁷²⁶ In particular, some 10,000 Sunni Arab IDPs currently residing in camps in the disputed Hassan Sham area (referred to as the East Mosul Camps) face such stigmatization which they have indicated prevents them from returning to their areas of origin mainly in Ninewa Governorate. Returnees with perceived affiliation might also be exposed to harassment or retaliatory attacks upon return.⁷²⁷

A. Risk Profiles

1) Individuals Suspected of Supporting Da'esh

a) Civilians Perceived to Be Supporting Da'esh

Individuals of mostly Sunni Arab identity, and particularly, but not exclusively, men and boys of fighting age⁷⁴⁰ from formerly Da'esh-held areas, are reported to collectively be suspected of being affiliated with, or supporting Da'esh.⁷⁴¹ Since 2014, civilians of this profile have regularly been subjected to a range of retaliatory acts of violence and abuses at the hands of State and non-State actors, including during anti-Da'esh military operations, during and after flight from Da'esh-held areas, following the retaking of these areas, as well as during ongoing security operations against Da'esh remnants.

...

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

イ [HRW「ワールドレポート 2020 - イラク」](#) (2020 年 1 月 14 日)

イラク軍は、ISIS に所属していた被疑者を、多くの場合何ヶ月にもわたって、恣意的に拘禁した。目撃者と家族の証言によれば、治安部隊は、裁判所命令や逮捕状なしに被疑者を拘禁することを繰り返しており、逮捕の理由を告げないことも頻繁にあったという。

当局は、ISIS に所属していた被疑者やその他被拘禁者の適正手続を受ける権利（イラク法上保障されている権利であり、被拘禁者は 24 時間以内に裁判官と面接すること、取調べ中に弁護人の立会いを求めることができること、家族に通知して連絡を取ることができること等）を、組織ぐるみで侵害した。

...

集団罰

ISIS に所属していると見なされたイラク人家族（たいてい姓、所属している部族、出身地から判断される）は、身分証明書やその他あらゆる民事上の書類を手に入れるために必要な身元調査を拒否されることが頻繁にあった。そのため、彼らは、移動の自由、教育を受ける権利、勤労の権利、福祉給付金を受ける権利、遺産相続や再婚に必要な出生証明書や死亡証明書を受け取る権利が侵害された。また、身元調査が拒否されたことで、テロ、軍事作戦、軍事過誤の影響を受けたイラク人を補償するために 2009 年に設立された委員会に対して請求を行うことや、訴えを提起したり、治安部隊や同じ地域に住む家族による財産の差押えの正当性を問題にしたりすることもできなかった。

一部の家族は身元調査を受けることができたが、それは、タブリヤ (*tabriya*) として知られる手続きの中で、裁判官の面前に初出廷し、ISIS に加わった疑いのある親族を刑事告発することを進んで受け入れたためであった。ある個人が刑事告発を行うと、裁判所は、その個人に対して、身元調査を受けるために治安部隊に提示する必要がある文書を発行した。このような手法は、アンバー県において特に効果的であった。同県においては、2019 年にヒューマン・ライツ・ウォッチがインタビューした家族のうち、親族の中に ISIS に加わった疑いのある者がいる家族のほとんどが、タブリヤを通じて身元調査を受けることができた。

2019 年の間、避難民は、帰還を強制されたり妨害されたりしていた。7 月上旬、治安部隊は、ニネヴェにある避難民キャンプの向かい側で、避難民の出身地と ISIS との繋がりの可能性を調べるために調査を開始した。次の 2 か月間にわたって、ニネヴェとサラ・アルディンの当局は、出身県外にある避難民キャンプに住む数百人の避難民を退去させた。場合によっては、避難民家族の身に安全上の深刻な懸念があるにもかかわらず、彼らを故郷のコミュニティへと移送した。

2014 年から 2017 年の間にイラクから逃げた少なくとも 30,000 人のイラク人 (ISIS がイラクの領土から撤退したために ISIS の後について行った人も含む) が、シリア北東部のアル・ホール・キャンプとその周辺に収容された。2019 年、イラク政府は、国民を呼び戻し、ISIS と繋がりがあると判断されれば事実上の拘禁施設に閉じ込めるための準備を開始した。イラク政府は、ISIS に所属していると判断された家族を、集団強制収容スキームの下で拘禁するというより大規模な計画についても協議していたが、当該計画についてはまだ合意に至っていない。

2019 年、親族が ISIS に加わったと考えられていたために民事上の書類を有していなかった何千人もの子どもたちが、避難民キャンプ内の学校等、州立学校に入学するのを阻止された。

ISIS に所属していると判断された家族に支援を行っている弁護士や支援者の報告するところによれば、治安部隊は彼らを脅迫し、場合によっては当該支援を提供したことを理由に拘禁したという。

(5) 政府と関係している又は支持していると見なされる者<2022 年 6 月 27 日更新>

ア ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2019 年

5 月)

2) Persons Associated with, or Perceived as Supportive of, the Government

In an apparent effort to undermine security and the functioning and overall legitimacy of the Government, and despite having lost territorial control and its ability to systematically target persons of this profile, it has been reported that ISIS continues to regularly target civilians associated with, or perceived to be supporting, the Iraqi Government.⁴¹⁶ These civilians are reported to be subjected to intimidation, abduction and assassination, including by the use of IEDs on roads, magnetic bombs attached to vehicles and grenades hurled against homes.⁴¹⁷ Attacks against persons of this profile occur particularly, but not exclusively, in areas retaken from ISIS where the group maintains a presence.⁴¹⁸ Those targeted by ISIS include in particular:⁴¹⁹

...

※ 脚注の詳細は、原文をご覧ください。

4. ジェンダー、DV および子ども**ア HRW「ワールドレポート 2020 - イラク」(2020 年 1 月 14 日)**

イラク・クルディスタン地域にはドメスティック・バイオレンス (DV) に関する 2011 年の法律があるが、イラク政府の支配下の地域には女性を DV から守るための法的保護はほとんど存在しない。DV を取り締まるための法案を可決しようとする議会の取組みは、2019 年の間ずっと停滞していた。イラクの刑法は、イラク政府の支配下の地域にもイラク・クルディスタン地域にも適用されるが、身体的暴行を禁じている一方で、DV については明示的に言及していない。それどころか、同法第 41 条 (1) では、夫には妻を罰する法的権利があること、親は法律又は慣習で規定された範囲内で子供を罰することができることが規定されている。また、同法では、いわゆる「名誉ある動機」のために、又は妻や女性の親族が婚姻外の姦通・性行為を行っているところを目撃した場合には、殺人等の暴力行為に及んだとしても減刑されることが規定されている。

性的暴行は犯罪として規定されているが、刑法第 398 条は、加害者が被害者と結婚した場合には、そのような告訴は取り下げられると規定している。DV に関する全国的な調査は近年行われていないものの、女性の権利団体は、DV の発生率が高いと報告している。

5. LGBT**6. 汚職、国家による被害者の保護****(1) 非国家主体の迫害主体**

<2023 年 2 月 16 日更新>

① 人民動員体 (PMF/Popular Mobilisation Forces/Al-Hashd Al-Sha'abi)

ア ●DFAT「[DFAT 出身国情報報告 イラク](#)」(2023 年 1 月 16 日)

RECENT HISTORY

...

2.3 ...Many of the Iraqi forces were incorporated into a state-sponsored umbrella organisation known as the Popular Mobilization Forces (PMF), which has become influential in Iraq's economy, politics and security....

...

Enforced or involuntary disappearances

4.2 Iraq has one of the highest numbers of missing persons of any country in the world. According to the International Commission on Missing Persons, anywhere from 250,000 to 1 million people are missing from decades of conflict and human rights abuses. Victims include protesters and demonstrators, civil society activists, military and political leaders, lawyers and judges, people with perceived affiliations to Da'esh, Yazidis and LGBTI people. Perpetrators have included Iraqi authorities, Popular Mobilisation Forces (PMF), Al Qaeda and Da'esh. Popular Mobilisation Forces are thought to be behind the disappearance of thousands of mostly Sunni men and boys from 2014-17, as well as hundreds of protesters during civil unrest in 2018-20. Thousands of people are still missing in territories formerly held by Da'esh, with most thought to have been murdered.

...

TORTURE

4.6 There are consistent and credible reports of torture in Iraq, including by government forces and Popular Mobilisation Forces. Methods include beatings, stress positions, electric shocks, burns, and sexual humiliation. Sunni men and boys are particularly targeted on the basis of their perceived affiliation with Da'esh. Torture takes place during arrest, pre-trial detention and after conviction. It occurs in facilities run by the Ministry of Interior, the Ministry of Defence and those under KRG control, as well as facilities operated by PMFs. Although the law forbids the use of torture to obtain confessions, courts routinely accept forced confessions as evidence and ignore allegations of torture when raised. Da'esh regularly used torture when it controlled parts of Iraq in 2014-17.

...

Arbitrary arrest and detention

4.7 Government forces frequently arrest suspects, without warrants, in security sweeps, particularly under the anti-terrorism law. People detained during these sweeps are often held for long periods without charge. Security forces including Popular Mobilisation Forces have also arbitrarily arrested and detained protesters, particularly in relation to the Tishreen protest movement (see Protesters and demonstrators). Authorities often do not inform detainees of the reasons for their detention or notify family members of their arrest or location, in some cases amounting to Enforced or involuntary disappearances.

...

Popular Mobilisation Forces (PMF)

5.5 The Popular Mobilisation Forces (PMF) are a state-sponsored umbrella military organisation composed of approximately 50 militia groups operating nationwide. The PMF was formally established in June 2014 by Prime Minister Nouri al-Maliki. In the same month, Iraq's Grand Ayatollah issued a fatwa (religious ruling) calling on men to join the Iraqi Security Forces to defend the country from Da'esh. Many chose to enlist with existing militias under the PMF rather than the regular Iraqi army. Their forces played an important role in the eventual military victory. Most PMF units are Shi'a Arab and operate across Iraq. Sunni Arab, Yazidi, Christian and other minority PMF units also exist, generally operating within or near their home regions. Some militias have political wings and parliamentary representation. Many PMF elements reportedly answer directly to the Iranian government, in particular to the Islamic Revolutionary Guard Corps. The CIA World Factbook estimates the number of PMF fighters at 100,000-160,000.

5.6 Human rights organisations and in-country sources report that some PMF groups engage in killing, kidnapping and extortion throughout the country, particularly in ethnically and religiously mixed governorates. Human rights observers blame elements of the PMF for much of the violence committed against those demonstrating against the government in the Tishreen protests, as well as for attacks on activists throughout the country. For instance, in May 2021, PMF gunmen allegedly shot and killed prominent activist and protest leader Ehab al-Wazni near his home in Karbala. PMFs exercise considerable political influence and are entrenched in many of Iraq's formal and illegal economic sectors, including construction, services, protection rackets and the smuggling of oil, drugs and other contraband. In-country sources report those who fall afoul of a local PMF group have little chance of official justice or compensation.

Iraqi Police

...

5.8 The Iraqi Police is generally underfunded and poorly equipped. According to surveys, one-third of Iraqis report having paid a bribe to the police. Many police officers moonlight in other occupations, including as PMF members. Deficiencies in training and resources mean police are often unable to carry out normal policing functions beyond staffing checkpoints and directing traffic. Being a police officer in Iraq is very dangerous: an estimated 14,000 Iraqi police have been killed in the line of duty since 2003.

...

イ DFAT [「DFAT 出身国情報報告 イラク \(仮訳\)」](#) 入管庁ウェブ (2018 年 10 月 9 日)

2.32 残存する ISIL 戦闘員 (又は ISIL の敗北後に出現した他の過激派戦闘員) 及

び他の武装集団（国家が承認した人民動員隊を含む：人民動員隊（PMF 又は Al-Hashd Al-Sha'abi）を参照）の活動やシーア派内及びスンニ派内の歴史的な緊張関係など複数の要因がイラクの治安情勢に影響を及ぼしている。…

2.33 残存する ISIL その他の過激派戦闘員と影響力を強める PMF の活動が、現在のイラク全域における治安情勢に影響を及ぼしている最も深刻な問題である。…

2.36 …一部のシーア派集団は、キリスト教徒及びスンニ派のコミュニティを分断し、弱体化させるために地元宗派のキリスト教及びスンニ派民兵組織を結成する活動に資金援助してきた。国内外の監視団体は、一部の PMF 集団が市民に対し人権侵害を犯している他、犯罪活動に従事しているとして非難してきた（人民動員隊（PMF 又は Al-Hashd Al-Sha'abi）を参照）。異なるシーア派武装集団間の暴力も頻発しているが、通常はそれほど多くない。

3.33 …対立するシーア派民兵組織（PMF 内の民兵組織を含む）間の暴力も、バグダッドやイラク南部などシーア派地域でより頻繁に起きている。

3.35 …政府は、ISIL との戦闘の中で市民を保護しようとして懸命に取り組んだが、イラク治安部隊（Iraqi Security Forces : ISF）又は PMF によるスンニ派教徒への報復行為に断固として対応しない時もあった。こうした要因によって、イラクのスンニ派とシーア派のコミュニティ間の緊張関係が高まっている。

3.36 スンニ派（IDP を含む）は、PMF 集団がスンニ派教徒に嫌がらせをし、スンニ派が ISIL を支持していると非難し、スンニ派教徒に身体的な危害を加えていると報告し続けている。…PMF と繋がりがある民兵集団は ISIL の追放を受けて、スンニ派が所有する財産を略奪し、破壊した他、一部の地域においては、国内避難していたスンニ派教徒が帰郷するのを阻止した。

4.2 NGO 及び国際機関は、多数の人々が不本意ながら失踪していると確信している。人権団体は、ISIL と関係しているという嫌疑で告発されている男性や男児が失踪しており、イラク軍及び PMF 勢力がその失踪に関与していると主張している。…

4.11 国連拷問禁止委員会は、テロ犯罪容疑者その他の犯罪容疑者が長期間勾留されている警備の厳重な秘密拘置施設に関する報告書に関して懸念を提起した。米国国務省の 2017 年人権報告書は、ISIL 支配地域で ISIL が敗北した後、PMF 集団が個人、特にスンニ派の男性 IDP を逮捕、勾留し、そのことについて家族に知らせることなく、かつ、被逮捕者に弁護士と面会させることも適正手続きを踏ませることもなかったと主張した。…

5.3 …ISF は、PMF など他の機関による人権侵害に関して行動することがなかった。…

人民動員隊 (PMF 又は Al-Hashd Al-Sha'abi)

5.4 PMF は国家が承認した 200 余りの武装集団（大半がシーア派）から成る統括組織である。PMF には、少数のスニ派部族闘争員及び民兵の集団が含まれる。これらの集団の多くは、ある程度の期間に亘って存在してきており、イランと緊密な繋がりを持っていた。2016 年、内閣は PMF を一元化された支配の下に独立民兵組織として組み込むことを決定した。この決定は 2018 年 3 月、首相によって正式に承認された。しかしながら、米国国務省の評価によると、中央政府は PMF を一貫して管理する能力に欠けていたため、PMF 集団は人権侵害（強制的失踪、強要、拷問及び超法規的殺害を含む）を犯し続けてきた。PMF 集団の多くは、限られた訓練しか受けていない志願者で構成されている。PMF を ISF に正式に組み入れることで、連邦政府が PMF 活動をどの程度実効支配できるようになるのかは依然として不明である。

ウ ● ACCORD [「イラクに関するテーマ別資料：イラクのシーア派民兵 \(Themendossier zum Irak: Shiitische Milizen im Irak\)」](#) [ecoi.net](#) (2022 年 9 月 22 日)

1. イラクにおけるシーア派民兵の発展

2014 年 6 月にイスラム国 (IS) グループがモスル市を占領すると、国内で最も影響力のあるシーア派聖職者であるアヤトラ・アリ・アル・シスターニが、イスラム国と戦うために国家への支援を呼びかけた。何万人もの男たちが聖職者の呼びかけに応じ、人民動員軍 (PMF) という緩やかな傘の下に結集した (EPIC、2017 年 1 月 18 日 ; The Century Foundation、2018 年 3 月 5 日)。PMF のアラビア語名である「アル・ハッシュド・アシュ・シャアビ [Al-Hashd Al-Sha'abi]」を使用する資料もある。その他の通称は、人民動員隊 (PMU) または単に「ハッシュド [Hashd]」である。

イラク政府がイスラム国に対する勝利を公式に発表した 2017 年末以降、PMF は過激派の機能に加え、その勢力範囲を拡大してきた。例えば、彼らは議会で独自の政党ブロックを持ち (Al-Monitor、2020 年 7 月 1 日 ; Al-Jazeera、2022 年 6 月 23 日)、復興プロセスの一環として、特にイスラム国から奪還した地域で、国家の支配を超える経済部門を引き継いでいる (ICG、2018 年 7 月 30 日・i-ii 頁)。2019 年 7 月上旬、アブド・アル・マハディ首相は、すべての PMF 民兵に対し、7 月 31 日までに正規の治安部隊に参加するか、政治運動としての機能のみ残して活動を停止するよう求める政令を発した (EPIC、2019 年 7 月 4 日 ; DW、2019 年 7 月 2 日)。この政令の実施は依然として不完全である (CRS、2020 年 2 月 3 日・2 頁 ; Al-Monitor、2020 年 7 月 1 日)。PMF の全部隊は公式には首相に報告するが、実際にはイラン革命防衛隊の指導に従う部隊もある (USDOS, 11 March 2020, Executive Summary)。さらに、Asa'ib Ahl al-Haqq、Kata'ib Hezbollah、Harakat Al-Nujaba などの民兵が PMF の組織の内外で戦闘員を維持している (War on the Rocks、2019 年

11 月 11 日)。

1.1 Wichtigste Gruppen

Die unter den PMF gruppierten Milizen sind sehr heterogen und haben unterschiedliche Organisationsformen, Einfluss und Haltungen zum irakischen Staat (Clingendael Institute, Juni 2018, S. 2). Man kann sie laut International Crisis Group aber je nach Ausrichtung in etwa drei Blöcke einteilen: der erste und mächtigste Block folgt dem iranischen Obersten Religionsführer Ali Khamenei und unterhält enge Verbindungen zu den iranischen Revolutionsgarden. Der zweite Block folgt dem höchsten schiitischen Kleriker im Irak, Ayatollah Ali Al-Sistani. Der dritte Block besteht aus der mit dem irakischen Kleriker Muqtada Al-Sadr verbundenen Miliz Saraya Al-Salam und steht in Opposition zum erstgenannten pro-iranischen Block. Während die pro-iranischen Milizen die Integration in die nationalen Sicherheitskräfte ablehnten, standen der zweite und dritte Block einer möglichen Unterordnung ihrer Milizen unter Innen- oder Verteidigungsministerium positiv gegenüber (ICG, 30. Juli 2018, S. 3-4). Mittlerweile haben auch einige pro-iranische Milizen einer Eingliederung in die regulären Sicherheitskräfte zumindest öffentlich zugestimmt (EPIC, 4. Juli 2019). Im Juni 2020 erließ der Anführer der PMF, Faleh Al-Fayadh, eine Anordnung zur Schließung der Büros aller irakischen paramilitärischen Gruppen im Land (The National, 5. Juni 2020). Die Anordnung sieht vor, dass die unterschiedlichen und unabhängigen Gruppen in der Hauptorganisation zusammengelegt werden, die neuen Richtlinien hinsichtlich ihrer künftigen Rolle und Funktion unterliegen soll. Al-Fayadh kündigte zudem ein "Verbot aller nichtmilitärischen Aktionen an, die außerhalb der Ziele der PMF liegen." (Eurasia Review, 3. Juli 2020).

1.2 Pro-Iran-Milizen

Many of the pro-Iran militias emerged after the fall of Saddam Hussein's regime in 2003. They include the Badr Organization (originally founded in Iran in 1982, re-represented in Iraq since 2003), Asa'ib Ahl al-Haqq (founded in 2006), Kata'ib Hezbollah (founded in 2007) and other militias (ICG, July 30, 2018, p. 3). The pro-Iran militias make up most of the PMF (The Soufan Center, March 20, 2019).

Asa'ib Ahl al-Haqq mit ihrem Anführer Qais Al-Khazali verfügt über etwa 15.000 Kämpfer (The Soufan Center, 20. März 2019). Als älteste schiitische Miliz gilt die Badr-Organisation unter ihrem Anführer Hadi-Al-Amiri. Sie verfügt über etwa 20.000 Kämpfer und ist als Teil des von den PMF geführten Fatah-Blocks stark in der Politik vertreten (The Soufan Center, 20. März 2019).

Kata'ib Hisbollah ist mit etwa 3.000 bis 7.000 Kämpfern die am engsten mit dem Iran kooperierende Miliz (Al Arabiya, 31. Mai 2020). Der einflussreiche frühere Anführer von Kata'ib Hisbollah und führender Kommandeur innerhalb der PMF-Struktur, Abu Mahdi Al-Muhandis, wurde am 3. Jänner 2020 bei einem US-Drohnenangriff nahe des Flughafens in Bagdad getötet (BBC News, 16. März 2020). Die Suche nach einem Nachfolger für Al-Muhandis und die Ernennung von Abdul Aziz (Abu Fadak) al-Mohammedawi, einem

ehemaligen Generalsekretär der Kata'ib Hisbollah, führte zu einem Bruch innerhalb der PMF und Kata'ib Hisbollah (Reuters, 1. April 2020). Renad Mansour von Chatham House beschreibt im Sommer 2020 die weitreichenden Folgen des Todes von Al-Muhandis, die Unordnung in die höheren Ränge der PMF gebracht habe. Einzelne Gruppen fühlten sich weniger an die zentrale Kommandostruktur innerhalb der PMF gebunden, welche Al-Muhandis vor seinem Tod versucht hatte, weiter zu zentralisieren, um Probleme durch allein handelnde Einzelgruppierungen zu vermeiden. Diese Arbeit ging mit seinem Tod verloren und habe zu einer Verschlechterung der Sicherheitslage im Irak geführt (Chatham House, Juni und Juli 2020). 2021 beschreibt AP , dass Milizen sich seit dem Tod von Al-Muhandis in neue, bisher unbekannte, Gruppen zersplitterten, sodass sie Angriffe unter verschiedenen Namen geltend machen konnten (AP, 31. März 2021). Just Security verzeichnet seit der Tötung von Qassem Soleimani und Abu Mahdi al-Muhandis Anfang 2020 einen Anstieg von Angriffen schiitischer Milizen auf US-Ziele und Ziele der Koalitionskräfte im Irak, wie zum Beispiel gegen die US-amerikanische Botschaft in der Grünen Zone von Bagdad und gegen irakische Lastwagen, die Vorräte für die Koalitionsstreitkräfte transportieren. Verschiedene Milizen mit neuen und unbekannten Namen übernahmen die Verantwortung für die Angriffe. Laut Just Security gibt es Beweise, dass diese kleinen Gruppierungen als Fassade für größere (echte) Milizen, wie Kata'ib Hisbollah, Asa'ib Ahl al-Haqq, Harakat Hisbollah al-Nudschaba, und Kata'ib Sayyid al-Schuhada agierten (Just Security, 10. März 2021).

The Washington Institute for Near East Policy (WINEP) beschreibt im Jänner 2021 einige Veränderungen innerhalb der dem Iran nahestehenden Milizen. Kata'ib Hisbollah (KH), Asa'ib Ahl al-Haqq (AAH) und Harakat Hisbollah al-Nudschaba (HaN) hatten sich zusammengeschlossen, um gegen die westliche Militärpräsenz im Land vorzugehen. Die einzelnen Fraktionen stritten sich jedoch über individuelle Angriffe, sodass der Iran einschreiten musste. (WINEP, 19. Jänner 2021)

...

※ 原文ドイツ語。訳文は、www.DeepL.com/Translator（無料版）の翻訳に修正を加えたものです。

エ 記事「[米国務長官、イラクのシーア派民兵にイランへの「帰国」求める](#)」ロイター通信（2017 年 10 月 23 日）

イラクでは I S が国土の 3 分の 1 を占領したことを受けて 2 0 1 4 年に「人民動員隊（PMF）」が創設された。PMF の兵士はイランで訓練され、資金援助も受けている。

② Saraya al-Salam、(旧マフディー軍／Mahdi Army)

ア UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」（2019 年

5 月)

a) イラク当局やそれと手を組んでいる勢力による人権侵害

2014 年から 2017 年までにおけるイスラム国に対する軍事作戦に関連して、イラク国防軍やそれと手を組んでいる勢力が恣意的な逮捕や監禁、誘拐、連れ去りなどに関わっていると報じられている。

(脚注 176) 特に PMF (Hezbollah Brigades, Badr Organization, Asa'ib Ahl Al-Haq, Saraya Al-Salam など)、イラク国防軍、緊急出動部局、国家安全保証局、内務・テロ対策省、連邦警察などを含む一連の集団による違反行為や虐待への関与が示唆されている。

(脚注 624) 2016 年に PMF の一部でありかつて Mahdi 軍であったところの Saraya Al-Salam の隊員を招集した影響力のあるシーア派聖職者の Muqtada Al-Sadr は...

イ 英国内務省「[出身国情報報告 イラク 2009 年 1 月 12 日版 \(仮訳\)](#)」(2009 年 1 月 12 日)

13.39 2008 年 2 月 7 日に発表された IGC 報告によると、Mahdi Army がスンニ派の虐殺を行い、犠牲者の所持品を強奪した。これは、多くの Mahdi のメンバーにとって非常に実入りの良い商売だと言われている。多数のベテラン Mahdi Army 指導者の殺害、拘留または失踪後、若く経験の少ない戦闘員が選抜され、彼らの後を襲った。これらの新しい補充兵は権力と金を熱心に求めており、かつ、彼らの大義のために殺傷をいとわない。その他のシーア派は、彼らが民間人を無差別に狙い打ちしたと主張した。スンニ地域を狙った数発のミサイルが代わりに学校を直撃した。[25i] (p6)

ウ ● ACCORD「[イラクに関するテーマ別資料：イラクのシーア派民兵 \(Themendossier zum Irak: Schiitische Milizen im Irak\)](#)」ecoi.net (2022 年 9 月 22 日)

1.4 Miliz Saraya Al-Salam von Muqtada Al-Sadr

2014 mobilisierte sich aus den Rängen der vormaligen Mahdi-Armee die Miliz Saraya Al-Salam, die dem irakischen Kleriker Muqtada Al-Sadr untersteht. Sie verfolgt eine nationalistische Ideologie und eigene politische Ziele (Clingendael Institute, Juni 2018, S. 3). Al-Sadr kündigte 2019 an, die Miliz Saraya Al-Salam als militärischen Arm seiner Organisation aufzulösen. Die in Samarra stationierten Kämpfer der Miliz wurden jedoch ausgenommen (Rudaw, 30. März 2019). Trotzdem gibt es weiterhin Meldungen zu Aktivitäten der Miliz auch in anderen Teilen des Landes. Im Süden des Irak nannte sich die Miliz „Blaue Schirmmützen“, sie blieb jedoch trotz der Namensänderung als ein Netzwerk von Kämpfern der Sadr-Bewegung mit der Basis von Sadr verbunden (FPRI, März 2020, S. 31). Die Miliz ging im Zuge der gegen die Regierung gerichteten Proteste im Frühjahr 2020

in Bagdad und weiteren Städten im Südirak gewaltsam gegen Demonstrant·innen vor und besetzte Protestlager (FPRI, März 2020, S. 17). Im Februar 2020 verkündete Muqtada Al-Sadr die Auflösung der „Blauen Schirmmützen“, nachdem diese beschuldigt wurden Demonstranten getötet zu haben (MEMO, 13. Februar 2020, Rudaw, 11. Februar 2020).

Anfang Februar 2021 marschierte eine Vielzahl von Mitgliedern der Saraya Al-Salam in den Provinzen Karbala und Nadschaf sowie in Bagdad auf, nachdem sie angeblich Informationen über eine Bedrohung der heiligen Stätten erhalten hatten (Rudaw, 9. Februar 2021).

③ イラク・レバントのイスラム国 (ISIL/The Islamic State of Iraq and the Levant) ア 公安調査庁「[イラク・レバントのイスラム国 \(ISIL\)](#)」(2019 年 5 月 23 日閲覧)

イラク, シリアを拠点に活動するスンニ派過激組織。「カリフ国家」を自称。両国政府やシーア派などスンニ派以外の宗派, 他宗教の住民などを標的としたテロを実行。

設立時期 2004 年 10 月

イ UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2019 年 5 月)

治安を悪化させ政府機能や政府の正当性を損なわせようとする明らかな動きの中で、地域の制御能力やこれらの人物を組織的に狙う能力を失ったにも関わらず、イスラム国はイラク政府と関わりがあったり、あるいはイラク政府を支持していると見受けられる市民を定期的に標的にし続けている。これらの市民は脅しや誘拐、暗殺の対象となっていると伝えられており、その際には路上の即席爆発装置や車両に取り付けられた電磁波爆弾、家に投げつけられる手榴弾などが用いられている。これらの人物に対する攻撃は、絶対ではないもののイスラム国が再び奪取し、集団が影響力を維持しているエリアで特に発生している。イスラム国に標的とされている人々は、特に下記を含む。

- 政府当局者で、特に市区町村 (municipal) レベルの者。元政府当局者も一定の場合には依然として攻撃を受ける危険がある可能性がある。
- 公務員で、特に地方自治体レベルの者。さらに、政府に任命された裁判官や検察官で、特にテロ対策法の事件に関わる者が、イスラム国などの武装組織に標的にされている。
- あらゆる政治スペクトラムの政党の党员。政党の党员に対する攻撃は、イスラム国が政府の信用を失墜させ、政治プロセスや国家機能を妨害しようとするため、特に選挙準備期間に激化するのが常である。

④ イラクのアルカイダ (AQI/Al-Qaida in Iraq)

ア 公安調査庁「[イラクのアルカイダ \(AQI\)](#)」(2019 年 5 月 23 日閲覧)

イラクなどで活動するスンニ派過激組織。イラク政府、シーア派住民などを標的としたテロを実行。各種声明の発出を始めとして、「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) 名などで活動。

設立時期 2004 年 10 月(「アルカイダ」最高指導者への忠誠を表明し、「イラクのアルカイダ聖戦機構」(AQI) [\(注 3\)](#) の名称使用を開始)

⑤ イラク革命者総軍事評議会 (GMCIR／General Military Council for Iraqi Revolutionaries／Al-Majlis al-Askari al-Amm li-Thuwwar al-Iraq)

ア 公安調査庁「[イラク革命者総軍事評議会 \(GMCIR\)](#)」(2019 年 5 月 23 日閲覧)

「イラク革命者総軍事評議会」(GMCIR) は、スンニ派部族民兵などの連合体とされ、旧「イラク・バアス党」関係者や旧フセイン政権時代の軍関係者などが主導しているとされる。政府をシーア派主導とみなしており、政府の打倒や同国に対するイランの影響力の排除などを掲げているとされる。勢力は、約 7 万 5,000 人(2014 年時点) と推定されている。

(2) 国家保護

ア UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2019 年 5 月)

a) 中央政府の管理下地域における国家保護の可能性

イラクにおいては戦争犯罪や人道に対する罪、ジェノサイドを含む国際犯罪を訴追する適切な法的枠組みが欠けている。法的枠組みが人権保護を供給している場所においても、これらの権利を保護するというイラクの国内法上および国際法上の義務の履行は、実際にはしばしば困難なままであり、国家及び非国家のアクターは人権侵害や虐待をしても刑罰を受けない。…

刑事裁判制度は脆弱であり、逮捕や拘留、司法手続き、公平な裁判基準などの点で国際法上の、および国内法上の法的義務を満たしていないと伝えられている。拘留中における拷問や殺害のケースを信頼がおける形で調査することができず、悪人の責任を問うことができないという当局の失敗によって、懲罰が与えられない犯罪者がこれらの人権侵害を継続できると伝えられている。…

(3) 国内避難の選択可能性

ア 英国内務省「[国別政策情報ノート：イラク：国内避難・身分関係の証明書・帰国、第 9.0 版](#)」(2019 年 2 月)

a. 国内避難一般

2.5.3 難民資格に関する指令の 15 条 c に該当するどんなイラクの地方へ国内避難させるのは、それが誰であったとしても不当である。15 条 c 違反に該当するであろう状況のエリアについての評価と情報は、国の政策と情報資料を参照せよ（イラク：治安と人権状況）。

7. 兵役、強制徴集（非国家主体の）

8. 司法制度・刑事手続（刑務所等の状況含む）

9. 警察および治安部隊（情報機関含む）

(1) 政府当局者による拷問

ア HRW「[ワールドレポート 2020 - イラク](#)」（2020 年 1 月 14 日）

2019 年の間を通じてヒューマン・ライツ・ウォッチが受けていた報告によれば、イラク軍と KRG（クルディスタン地域政府）軍では、自白を引き出すために広く拷問が行われており、子どもまでもがその対象になっているという。ある男性は、拘禁中に拷問されたことにより動脈を損傷し、腕を切断せざるを得なかった。

...

当局は、過密状態にあり、場合によっては非人道的な状況下で、犯罪の被疑者を拘禁した。刑務所内のある情報筋がヒューマン・ライツ・ウォッチに提供した写真には、ニネヴェにある過密状態の刑務所監房の様子が写されている。そこでは、女性と子どもが、ISIS に所属していたという罪で、虐待にも当たるようなあまりにも劣悪な状況下で拘束されている。

(2) 刑務所の状況

ア HRW「[ワールドレポート 2020 - イラク](#)」（2020 年 1 月 14 日）

当局は、過密状態にあり、場合によっては非人道的な状況下で、犯罪の被疑者を拘禁した。刑務所内のある情報筋がヒューマン・ライツ・ウォッチに提供した写真には、ニネヴェにある過密状態の刑務所監房の様子が写されている。そこでは、女性と子どもが、ISIS に所属していたという罪で、虐待にも当たるようなあまりにも劣悪な状況下で拘束されている。

10. 報道の自由

11. 宗教の自由

12. 国籍、民族および人種

(1) トルクメン人

<2024 年 12 月 26 日追加>

ア ●UNHCR「[イラク共和国から避難した人々に関する国際保護の検討](#)」(2024 年 1 月)

2) Non-State Actors

...

b) Kurdistan Workers' Party (PKK)

The PKK has been implicated in attacks against Turkish military forces and the Peshmerga in northern Iraq.⁴⁰⁰ In areas where it maintains a presence, it is reported to subject civilians to kidnapping and extortion, including at illegal checkpoints.⁴⁰¹ In some instances, it has reportedly targeted critics, including Kurdish and Turkmen party officials and journalists, for intimidation, threats and kidnapping.⁴⁰² The PKK is also reported to engage in the recruitment of children.⁴⁰³

b) Families Associated with Actual or Perceived Da'esh Members

Families, and in particular women and children, associated with actual or perceived Da'esh members on account of their family or tribal relations,⁷⁶⁴ are reported to be stigmatized and subjected to a range of human rights violations and abuses at the hands of local authorities, security actors, tribes and communities.⁷⁶⁵ The UN and human rights organizations have described the treatment of these families by the authorities and communities as “collective punishment”.⁷⁶⁶ The treatment of persons of this profile may differ depending on these families’ (perceived) level of closeness to Da'esh as well as a host of local factors.⁷⁶⁷ There is a general perception that Sunni Arabs and Turkmen who remain displaced were affiliated with Da'esh.⁷⁶⁸ Authorities, and the general population, also perceive those holding Da'esh-issued documentation as affiliated with Da'esh.⁷⁶⁹ There are concerns over the lack of due process for these families, as they are not given an opportunity to challenge the determination that they have been associated with Da'esh.⁷⁷⁰ Family members associated with a real or perceived Da'esh member have also been arrested in lieu of wanted persons to exert pressure on the suspect to surrender or confess.⁷⁷¹

Need for security clearance

Families associated with actual or perceived Da'esh members must obtain security clearance from relevant security actors in order to exercise their basic rights...

c) Assessing Whether the Proposed Area of IFA/IRA is Practically, Safely and Legally Accessible

...

(ii) Permitted to take up residency in the proposed area of relocation: In order to settle in the proposed area of relocation,¹³⁹⁹ valid documents (Civil Status ID card/Unified ID card, nationality certificate) are required.¹⁴⁰⁰ Furthermore, the individual requires the

approval (through a confirmation/recommendation/support letter) of the relevant local authority, such as the mukhtar, the local council or the mayor. In a number of governorates and cities a sponsor (in Baghdad: two sponsors) is required.¹⁴⁰¹ In addition, the individual requires the approval from the concerned security actor(s) in the proposed location, normally the Ministry of Interior Intelligence Department (Federal Iraq) or the Asayish (KR-I), respectively, irrespective of the person's profile/origin.¹⁴⁰² Sunni Arabs and Sunni Turkmen from formerly Da'esh-held or conflict-affected areas may come under greater scrutiny and be denied security clearance or run the risk of arbitrary arrest and detention under the Anti-Terrorism Law of 2005 (Law No. 13 of 2005) on the basis of broad and discriminatory profiling.¹⁴⁰³

...

13. 出入国および移動の自由

14. 国籍／市民権（パスポートを所持していない者の）

15. その他

ACCORD	オーストリア出身国・庇護研究ドキュメンテーションセンター
ACLED	武力紛争位置・事件データプロジェクト
AI	アムネスティ・インターナショナル
ARC	難民調査センター
BAMF	ドイツ連邦移民難民庁
CGRS	ベルギー難民及び無国籍者庁
CIA	米国中央情報局
CNDA	フランス庇護権裁判所
CRS	米国議会調査局
DFAT	オーストラリア外務貿易省
DIS	デンマーク移民庁
DRC	デンマーク・レフュジー・カウンセル
EASO	欧州難民支援機関
FIS	フィンランド移民庁
HRW	ヒューマン・ライツ・ウォッチ
ICG	インターナショナル・クライシス・グループ
IDMC	国内避難民監視センター
IRBC	カナダ移民難民局
IRDC	アイルランド難民ドキュメンテーションセンター
ジェトロ	日本貿易振興機構
JICA	国際協力機構
Lifos	スウェーデン移民庁出身国情報データベース
Landinfo	ノルウェー政府出身国情報センター
MRGI	マイノリティ・ライツ・グループ・インターナショナル
OECD	経済協力開発機構
OFPRA	フランス難民・無国籍庇護局
OHCHR	国連人権高等弁務官事務所
OSAC	米国海外安全保障評議会
RTA	オーストラリア難民再審査審判所
RSAA	ニュージーランド難民地位不服申立機関
RSF	国境なき記者団
UKIAT	イギリス移民難民審判所
UKUT	イギリス上級審判所
UNHCR	国連難民高等弁務官事務所

USCIRF

米国連邦政府国際宗教自由に関する委員会